

第13回市民自治推進委員会 会議録（平成28年12月21日）

発言者	発言内容等
	<p>開 会 委嘱状交付 市長あいさつ 委員長・副委員長あいさつ</p>
事務局	<p>「審議事項1 市民自治推進委員会の調査審議について」「審議事項2 地域コミュニティ活性化事業について」「審議事項3 今後の予定について」事務局から説明。</p>
委 員	<p>モデル3地区は、比較的コミュニティ力が強い地域ではないかと思うが、私の地区では、自治会の総会でも参加が少なく、お年寄りも多くて集会所まで行けない方も多い。モデル地区を選ぶにあたり、ある程度活動していてコミュニティ力のある地域を選定したのか？</p>
事務局	<p>モデル地区の選定については、公民館全館に募集して希望があったので3館であった。公民館には事前に事業内容を説明した上でこの3館がモデル地区となった。</p>
委 員	<p>実際にどの位の補助金が支出されているのか？</p>
事務局	<p>一律各地区100万円である。昨年27年度の実績では、川滝が80万、豊岡が98万、蕪崎が70万となった。100万円の予算内で事業に使用した金額がこの金額である。</p>
委 員	<p>初めての方は制度がこういう形であることがわからないので、次の事例発表会等では周知を図り、拡大してもっと皆さんに知ってもらいたい。</p>
委員長	<p>コミュニティの活動が活発かどうかという点では、住民の移動が少ない農村型の地域は伝統的な協働作業が多く比較的活動が盛んであるが、都市型の地域では人の移動が多くコミュニティ活動が弱い傾向にある。現在のモデル事業では、まずコミュニティ活動とは何かを理解していただくための準備段階である。</p>
委 員	<p>この事業が始まり、他の地域でも事業をしたいという問い合わせはなかったか？</p>
事務局	<p>昨年度は各公民館を回り事業周知を図ったが、「事業をやりたい」や「難しい」という意見もあり、地域によって両極端な結果となっている。</p>
委 員	<p>事業をやりたい地域があったのであれば、事業の幅を広げる周知活動も大事になると思う。</p>
委 員	<p>是非、厳しい状況にある「まちなか」で事業が展開できればいいと思う。</p>
事務局	<p>3月にご報告させていただいたとおり、全地区に展開していく予定になっているので、是非「まちなか」の方々にも周知を図っていきたい。次回2月9日開催予定の事例発表会では、多くの公民館関係者をはじめ、地域で活躍する皆さんに案内し</p>

	てご参加いただき、各地域の課題解決に向けたヒントを見つけていただきたい。
委員	実際に市内各公民館に広めるにあたり、住民集会をどういう形で開催するのか、反省や感想を事例発表会で参加者から聞きたい。
事務局	去年の反省点として、事業を行ったことだけに焦点が当たってしまっているが、その事業を始めるまでの過程や「なぜ事業を取り組んだのか」が重要である。モデル事業の3地区にはその部分を発表に取り入れてもらうように周知をしていきたい。
委員	自治会や団体への幅広い広報活動についても考えていただきたい。
事務局	「市民活動は面白い」という意見も聞いている。事業をしたい方にいろいろなツールを使って情報を届けていきたい。
委員	各地区事業を行う方々の年齢別での統計資料はないのか。私の地域の若い方は太鼓祭りしか参加しない傾向にある。
事務局	年齢別の集計はしていないが、20～30代の方々の参加が今後の大きな課題である。
委員	公民館の中に運営審議会があり、各団体の代表者が集まり、相談や計画の他、推進できる組織がある。この組織があるのになぜこういう組織が立ち上げられ、公民館の場に持ち込まれるのか？また、公民館のどの部分に対して今回の取組みが入っていきこうとしているのか？公民館活動には限界があるからなのか？公民館活動の主体性にも影響することになる。公民館の既存の組織と新しい組織がバッティングすることにならないか？
事務局	確かに、既存の組織に新しい「地域コミュニティ」という組織を被せる形となっている。今の公民館の在り方や活動としては、社会教育の枠を超えた活動が求められていると思う。自治基本条例にあるとおり、地域の拠点の公民館である。公民館を中心とした新たなまちづくりが求められていると思う。人口減少が進む中、市民活動が希薄化する傾向にある中、公民館を拠点としたコミュニティを再構築していきたい。事業内容は公民館活動と類似している部分もあるが、これまでの社会教育との違いとしては、住民集会の中で住民の方が自ら求めていく、自分達の地域課題を発見して、自ら事業を行いたいという意思表示の基に事業展開していくことが非常に大きな違いである。同じ事業を行ってもプロセスが違えば結果も違うと思う。
委員長	今後も公民館活動と連携を図りながら事業を行いたい。
委員	公民館の館長が大変になることが予想されるが、その他誰かに負担がかかっているなどの問題についても事例発表会で報告してほしい。
委員長	防災対策は大切に思う。昭和21年11月21日に南海大地震が発生したが、防災対策ラジオでも特集を組まれていた。専門家は大体80年周期で南海大地震が起こると予想されている。自然現象は若干ずれが生じることが多いが、大体あと10年以内に大

	<p>きな地震が起こる計算となる。その時に各コミュニティで支え合う仕組みを作っていく必要があるのではないかと思う。震災はどのコミュニティにも襲ってくる。防災対策をしていく上でひとつのコミュニティの活性化に繋がると思う。防災対策のアドバイザーはまず5日間生きることができる自分用の食料と水を確保し、その次に高齢者や女性、子ども等の弱者を支える必要があるが、その仕組みをコミュニティで構築する必要があると言っている。</p>
	<p>閉 会</p>